

静岡大学教育学部 塩田研究室

# 楽しく安全に休みを 過ごすために

指導者用ガイドブック

# この教材について

## この教材のねらいと活用のポイント

本教材は、場面強制想像法を用いて、子どもたちが「午後11時以降の外出」が起こるシチュエーションを考え、リスクを自覚化し、そうした誘いを断るためのスキルを身につけることをねらいとしています。そのために、大きく2つのポイントがあります。

### ◆ポイント① ワークシートを使ってシチュエーションを想像する

従来のトラブル事例の提示が中心の授業では、自分事として捉えさせることが困難でした。本教材は「何のために」「だれと」「どこで」というシチュエーションワードを組み合わせて、午後11時以降に外出してしまいそうなシチュエーションを作り、リスクの自覚化を目指します。

### ◆ポイント② 断るためのスキルを身につける

長期休みでは、深夜の外出だけでなく、喫煙や飲酒など様々なトラブルへの誘いがあるかもしれません。そこで、本教材では、断り方の種類を提示し、作成したシチュエーションに合う断り方を考えることを通して、適切な断り方を身につけます。

## 授業の設定

■実施対象 中学、高校の生徒

■実施時間 15～20分

## 準備するもの

- ・ワークシート 1人1枚（両面印刷の場合）
- ・指導者用ガイドブック

## 指導案 (20分)

時間	学習活動	準備物等
2分	<p><b>1. 休み中のトラブルを確認しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート（学ぼう③）を確認し、特に休み中は、喫煙、飲酒、深夜の外出などのトラブルに気を付ける必要があることを伝える。</li> </ul>	○ワークシート（学ぼう③）
10-15分	<p><b>2. 深夜の外出について考えてみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>自分が午後11時を過ぎて出歩いてしまう、気づいたら午後11時を過ぎていたというシチュエーションを考えてみましょう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でシチュエーションを考えさせ、ワークシートに記入させる。</li> <li>・グループで作ったシチュエーションを理由とともに共有し、一番ありそうなシチュエーションを決める。</li> <li>・一番ありそうなシチュエーションをクラスで共有する。</li> </ul>	○ワークシート（考えてみよう①）
3分	<p><b>3. 「断るスキル」を身につけよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで考えたシチュエーションをどのように断れるかをグループで考えさせる。</li> <li>・特に、「親族が警察関係者だから」は断りやすい断り方であることを伝える。</li> </ul>	○ワークシート（学ぼう②）